

2013年10月7日 発

報道関係者各位

学校法人東北学院 法人事務局広報部広報課
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
電話: 022-264-6423 / E-Mail: koho@tohoku-gakuin.ac.jp

いとうせいこう氏、『想像ラジオ』について 初の公開インタビュー&サイン会 東北の読者と語り合う 取材のお願い

■日時: **11月2日(土)** 15:00開場

第1部 公開インタビュー: 16:00～

◎いとうせいこうさんへのインタビュー

《司会進行: 土方正志(荒蝦夷)・川元茂(プレスアート)》

◎『想像ラジオ』抜粋朗読

《朗読: 石垣のりこ(エフエム仙台アナウンサー)》

◎中学校・高等学校教諭、図書館司書、大学生、高校生、介護施設職員、書店員など
東北に在住の方・お勤めの方とのトーク・セッション

第2部 著者サイン会: 18:00～

◎対象書籍『想像ラジオ』

※既にご購入の方はご持参ください。また当日会場でも販売しております。

■会場: 東北学院大学 土樋キャンパス 8号館841教室

仙台市青葉区土樋一丁目3-1 【公共交通機関をご利用ください】

■定員: 250名 ■参加費: 無料

■申込方法:

東北学院大学 <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>

河出書房新社 <http://www.kawade.co.jp/>

各ホームページ・イベント告知コーナーより受付

主催／東北学院大学 地域共生推進機構

共催／宮城県書店商業組合、仙台文学館

協力／宮城県学校図書館協議会、河出書房新社

企画／荒蝦夷、プレスアート

★当日取材にお越しいただく場合には、事前に下記、事務局まで

ご連絡くださいますようお願い申し上げます★

本件に関するお問い合わせ

仙台公開インタビュー事務局
担当 岡垣・山口

(株)河出書房新社 企画広報課内

TEL.03-3404-0337 FAX.03-3404-6167

開催趣旨

東日本大震災から2年を経た2013年3月に、河出書房新社より刊行されたいとうせいこうさんの小説『想像ラジオ』。著者16年ぶりの作品となる、「3・11」をテーマとした本作は大きな話題となり、現在11万部を突破するベストセラーとなっています。また、この夏には三島由紀夫賞候補、芥川賞候補ともなり、文学シーンにも大きな反響を呼んでいます。

しかしこれだけ話題になったにもかかわらず、いとうさんはマスコミの取材やインタビュー等で、本作品について直接語ることはこれまで一切ありませんでした。そこで、この度本学が主催となり、地元書店組合・仙台文学館・ラジオ局・出版社、発行元の河出書房新社など各方面の協力を得て、公開インタビュー&サイン会を開催することに致しましたのでお知らせ申し上げます。

東日本大震災から2年7ヵ月が過ぎようとしていますが、被災地ではまだまだ多くの傷跡が残り、種々問題も抱えている状況です。3・11をテーマとした『想像ラジオ』を被災地に住む私たちが、どう読んだのか、あるいはどう読むべきなのか？ また、沈黙が続く中で、いとうさんはどんな思いでこの作品を執筆したのか？ この作品をなぜ書かなければならなかったのか？

私たちは被災者という当事者の立場から、いとうさんと語り合いたい、そして失われた多くの命と共に生きていくために、これからの東北の未来を考えたいと思っております。



© Kisei Kobayashi

いとうせいこう 1961年東京都生まれ
作家、クリエイター。早稲田大学法学部卒業後、出版社の編集を経て、音楽や舞台、テレビなどの分野でも活躍。1988年、小説『ノーライフキング』でデビュー。1999年、『ボタニカル・ライフ』で第15回講談社エッセイ賞受賞。他の著書に『ワールズ・エンド・ガーデン』、『ゴドーは待たれながら』(戯曲)、『文芸漫談』(奥泉光との共著、後に文庫化にあたり『小説の聖典』と改題)、『Back 2 Back』(佐々木中との共著)などがある。

本件に関するお問い合わせ

仙台公開インタビュー事務局
担当 岡垣・山口

(株)河出書房新社 企画広報課内
TEL.03-3404-0337 FAX.03-3404-6167